学校番号	３０２６

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等　保健体育　　(大修館書店)						
副教材等	現代高等　保健体育ノート　　(大修館書店)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校１年生次に現代社会と健康の問題について知識を深めました。これからの時代の健康の問題を考察し、よりよい人生を送るために今年度は生涯にわたる健康を考えます。授業では、小グループでの意見交換から現在の健康に対する問題を抽出し、その問題に対する解決策を考察します。これから成長していく上での健康を意識し、家族や仲間など周りの人の健康も守ることができる視点を、更に考察していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにし、年齢とともに出会う様々な健康問題や健康を支える社会のしくみとその活用の仕方などについてより深く理解できるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】
健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養い、学ぶ内容について自分事として捉え日常生活 に活用することができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】
生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、自らの健康を保持増進することができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会の問題・課題が、 健康に対してどう影響しているか。過去のデータや事象と 比較することにより、現在置かれている自身の環境や現状を把握し、疾病・事故等に対する予防知識が深まって いるか評価する。	健康を維持していくために、現代の社会問題や健康についての課題に向き合い、学習活動を通して、総合的に正しい判断の下に、報告・自己表現ができているか評価する。	自らのこれからの健康について、関心を持って自己管理に つながるように、自身の生活及び社会生活における健康に 対する課題を見つけようとしていく。意欲的に学習に取り組み、多感な時期に健康について社会と個々との関わりを見つめなおす機会を持ち、評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生涯を通じる健康	3単元 1.ライフステージと健康 2.思春期と健康 3.性意識と性行動の選択 4.妊娠・出産と健康 5.避妊法と人工妊娠中絶 6.結婚生活と健康 7.中高年期と健康 8.働くことと健康 9.労働災害と健康 10.健康的な職業生活.	a:思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化や、性に関する情報等への適切な対処、結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点、受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響、結婚生活を健康に過ごすには，自他の健康に対する責任感，良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、高齢期には加齢に伴い心身の機能や形態が変化すること、職場の健康管理や安全管理等について理解している。 b:生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題について思考・整理・発表ができる。 c:生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 課題 ノート	定期考査 課題 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
2		2単元 1.事故の現状と発生要因 2.安全な社会の形成 3.交通における安全 4.応急手当の意義とその基本 5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法 4単元 1.大気汚染と健康 2.水質汚濁、土壌汚染と健康 3.環境と健康にかかわる対策 4.ごみの処理と上下水道の整備 5.食品の安全生 6.食品衛生にかかわる活動	a:事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組や、適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて理解している。また、人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし，健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解している。 b:安全な社会づくりについて，様々な事故や災害の事例から，安全に関する情報を整理し，環境の整備に応用している。環境と健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見し、思考・整理・発表ができる。 c:安全な社会づくり、応急手当、環境と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

3		7.保健サービスとその活用 8.医療サービスとその活用 9.医療品の精度とその活用 10.さまざまな保健活動や社会的対策 11.健康に関する環境づくりと社会参加	a:人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し，行政及びその他の機関などから健康に関する情報，医療の供給，医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解している。 b:健康に関する環境づくりと社会参加について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題について思考・整理・発表ができる。 c:保健・医療制度及び地域の保健・医療機関や様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度